

~学びと感動が人を変える~」

平成 24 年 8 月 28 日(火) 14:00~16:00 (受付 13:30)

場所 松山市立子規記念博物館 4 階講堂(愛媛県松山市道後公園 1-30)

角谷敏夫先生からのメッセージ

松本市立旭町中学校「桐分校」は刑務所の中にある日本で唯一の中学校です。 世界にも類例はありません。いろいろな事情から義務教育を修了できなかった受刑者 が学んでいる中学校です。

桐分校は昭和30年に設立されましたが、それは松本市民、長野県民の深い人間愛 と教育への深い理解、教育の力への信頼から誕生したものです。

57年の桐分校の歴史の中で、私は昭和48年から35年間桐分校に携わり、そのうち 33年間、桐分校クラス担任を務めてきました。

今回は桐分校がどのような学校であるのか。桐分校で私が体験したこと。出会った生 徒たちのこととその学ぶ姿、そして卒業後の彼らの生きる姿。私の歩んできた道等をお話 したいと思います。そして、その中で学ぶ意味、学ぶ喜び、学ぶ楽しさ、さらに学びと感動 が人を変え人を成長させることを考えてみたいと思います。

ところで私は35年間、どのような気持ちで、どのような姿勢で生徒と向き合ってきたので

しょうか。それは彼らがこれから生きていく心の糧になるもの、人生の支えになるものを在学中の1年間に1つでいいから見 つけて欲しい、作って欲しい。生きる力を養って欲しい。1日に1つでよいから感動を味わって欲しい。そう願いながら入学 式から卒業式までの日々を送りました。

拙著「刑務所の中の中学校」を執筆するという作業は、同時に私自身の35年間を振り返るという作業でもありました が、私は彼らに学ぶこと、生きることの意味を問い続けていたのだと思いました。そしてそれは同時に、私自身への問いか けでもあったのだと思いました。学ぶことで人は変われる。学ぶ人間の可能性を信じることができます。